

**03 ICT・デジタル化で  
日本一の輝く町に**

持続可能な地域社会を築くためにはデジタル技術の活用が不可欠です。スマート農業、スマート林業、スマート漁業の推進、行政事務のスマートフォンでの伝達・申請の促進、そして高齢者の健康管理のデジタル化を進めてまいります。

**02 地域資源で稼ぐ**

商工業者の経営安定化、新規起業家への支援を拡充強化し、人手不足でお困りの事業者と地方に興味のある方々をマッチングさせる企業との連携による人材不足の解消、新規就農者支援及び就農者への経営支援の強化拡充、漁業や林業への人材育成支援事業の充実強化に取り組んでまいります。

**05 安心して子育てできる環境の  
さらなる充実**

こんにちは赤ちゃん事業の更なる充実、3歳以上の幼稚園、保育園、小中義務教育学校の給食費無償化の継続実施、ICT機器やAIの積極的な活用により、個々の学習進度や興味に合わせ個別最適化された学びの提供、地域資源を活かした体験学習と社会教育の充実により、未来を創造する力を備えた地域人材を育成します。学校のあり方については、保護者や地域住民の皆様との議論を深め、未来を見据えた教育環境の整備を推進します。

**04 高齢者の皆さんが生涯現役で  
楽しく暮らせる町**

高齢化や公共交通機関の減少により、買い物や通院などの日常生活に支障をきたすことがないよう、利用者の意見や要望を踏まえ、おでかけタクシー等の更なる充実を図ります。  
また、サロンの充実や新たな発想で、生涯現役で楽しく暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

**07 稼ぐ町をバックアップ**

「宇宙のまちづくり」の一翼を担う組織として、「株式会社きもつき未来商社そらまち」を設立しました。ふるさと納税、観光PR、地域支援を行います。  
農林水産品の販売促進、ふるさと納税の拡充を柱とした、商品開発、商工業支援をはじめ、「何気ない風景が町の宝に」景観・風景を活かした観光資源の開発、発掘にも積極的に取り組みます。

**06 安心、安全に暮らせる町**

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社を中心に、太陽光などの再生エネルギーを活用したエネルギーの地産地消を推進し、地域で生まれた利益を新たな住民サービスに再投資し、経済の循環を生み出すことを目指します。  
また、引き続き町立病院の医師の安定確保に努め、経営強化プランに基づき、訪問医療等の更なる充実に努めます。



# 永野町政 5期目 始動

## 宇宙産業の人材育成とデジタル化の推進 「宇宙のまちづくり」は最終章へ

私は16年間、宇宙と共に歩み、豊かさや活気に満ちた肝付町の実現に向けた「宇宙のまちづくり」を追い求め、種を蒔き続けてまいりました。当時、宇宙ビジネスという言葉がまだ一般的でなかった頃、九州経済連合会との出会いをきっかけに、「オール九州による宇宙開発促進に向けた内之浦射場活用研究会」が発足し、この産学官金連携の枠組みが、多くの宇宙関連企業や大学を惹きつける契機となりました。

現在、複数の大学と「宇宙産業に係る人材育成に関する包括連携協定」を締結し、肝付町の宇宙産業の人材教育拠点としての地位を確立し、持続的に発展するため、その素地づくりを進めております。国が2030年代前半にはロケット打ち上げ年30回の目標を掲げ、民間参入を促す規制緩和を公表した今、これまで培った産学官金ネットワークを最大限に活用し、「宇宙のまちづくり」を更に推し進めてまいります。

ロケット打ち上げ回数増加は、観光・企業の人・物の往来を活発化させ、宇宙関連企業の進出は地域経済を活性化させます。こ

の好循環により、新たな投資が投資を呼び込み、地域経済の活性化に留まらず、日本の宇宙開発全体の発展に寄与するものと考えます。また、産学官金連携は、学生や企業等の常駐・往来を活発化させ、それを肌で感じる次代を担う子供たちが夢を育み、未来を創造する力を身につけることが期待でき、研究・実証分野は衛星データ等の利活用を含め、農林水産業や商工業の技術革新に活かされ、町民・町内企業に還元されていくものと確信しています。

肝付町は今年で誕生して20年を迎えました。合併時18000人だった人口は現在13300人、2050年には7500人になると予測されています。「ピンチをチャンスに」の言葉を胸に、人口減少抑制に向けた政策に取り組み、失敗を恐れず、「何もしないことを恐れよ」の信条のもと、情熱と誠実さをもって、全力で町政運営のかじ取りを努めてまいります。

(8月5日肝付町議会議会  
臨時会所信表明より)

### 永野町政が目指す 肝付町の未来を創る7つの重点施策

**01 次世代を創る健全な財政運営**

人口減少に伴い、税収・財源は減少していきますが、維持管理費に膨大な財源が伴う公共施設は昔のままです。  
次の世代への責任を果たすため、公共施設等総合管理計画を着実に実行し、町民の皆様にご理解いただきながら、健全な財政運営に誠心誠意努めてまいります。

ながの かずゆき

1951年1月23日肝付町(旧高山町)後田生まれ。

信条は「まっすぐに」

好きな言葉は「失敗を恐れるな。何もしないことを恐れよ」

